



公益財団法人
日本障がい者スポーツ協会

〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町2-13-6
ユニゾ水天宮ビル3階

[TEL] 03-5939-7021
[FAX] 03-5641-1213
[HP] <https://www.jsad.or.jp/>
[FB] <https://www.facebook.com/jpsasports>

2019年9月 発行

- 障がい者スポーツの情報や動画は
日本障がい者スポーツ協会HPへ



- 最新情報を随時更新中!
日本障がい者スポーツ協会FBへ



かんたん!
車いすフェンシング
ガイド

車いすフェンシングとは？

車いすを固定して戦うフェンシング。
フットワークがない分
激しい剣の攻防が繰り広げられ、
スピード感のある剣さばきや
一瞬のかけひきが勝敗を分けます。



車いすフェンシングは1960年のパラリンピック第1回大会から行われている歴史ある競技で、主にヨーロッパで盛んなスポーツです。

競技名の通り、固定された車いすに乗った状態で2名の選手が向き合い、腕を伸ばせば剣が届く距離のまま戦います。

突きや斬りが決まるのは一瞬ですが、そこまでに至るテクニックや戦術、駆け引きを駆使した戦いは奥深いものがあります。

CONTENTS

競技の概要

3

試合の様子

5

クラス分け

7

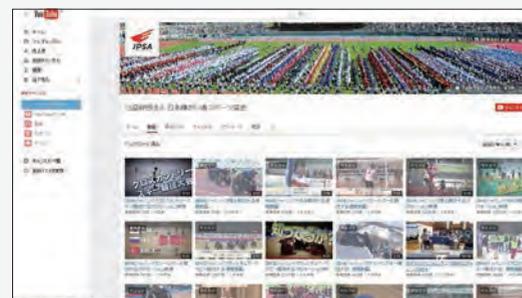
各種目の特徴・見どころ

- フルーレ _____ 9
- エペ _____ 11
- サーブル _____ 12

COLUMN

- まばたき厳禁! 射程距離ゼロの攻防 _____ 13
- もっと車いすフェンシングを知りたい! _____ 14

日本障がい者スポーツ協会公式YouTube



ジャパンパラをはじめ
障がい者スポーツ動画が充実!



<https://www.youtube.com/user/jsadchannel>

NPO法人日本車いすフェンシング協会



<https://jwfa.jimdo.com/>

競技の概要

車いすフェンシングは、FIE（国際フェンシング連盟）の競技規則に則って行われますが、車いすフェンシング特有のルールについてはIWAS（国際車いす・切断者スポーツ連盟）が設ける規定に準じます。剣や防具などの用具は一般と同じものを使用します。

実施種目

車いすフェンシングでは、男女それぞれで3種目が実施されます。

種目名	攻撃方法	攻撃の有効面	詳細ページ
フルーレ	突き	胴体のみ	詳しくはP9へ
エペ	突き	上半身	詳しくはP11へ
サーブル	突き・斬り	上半身	詳しくはP12へ

大会における試合方式

大会ではまず予選プールが行われ、その結果で決勝トーナメントが組まれて最終順位を決めます。

	予選プール	決勝トーナメント
個人戦	5タッチ（突き）を先取、または3分間でより多くのタッチを決めた選手の勝利	3分間を3セット行い、15タッチを先取、または3セット終了時により多くのタッチを決めた選手の勝利
団体戦	・ カテゴリーBの選手を1名以上含めた3名でチームを構成する ・ 1名が3分間で5タッチ先取制の試合を3セットずつ行い、3名で最高9セット中に45タッチ先取するか、タイムアップ時点で得点の多いチームの勝利となる ・ 予選、決勝トーナメントとも同じ方式で行われる	

試合の流れ

車いすフェンシングでは、まずピストと呼ばれる装置に車いすを固定し、選手同士の間合いの調整や審判器の作動を確認してから試合が行われます。

ピストに車いすを固定

※ピストボランティアについてはP14を参照



車いす間の距離を調整

車いす間の距離は腕と剣の長さで決められます。種目によっても異なりますが、エペやサーブルの場合、両選手が車いすの中央に真っ直ぐ座った状態で、片方の選手が剣を持つ手を真っ直ぐに伸ばします。もう片方の選手は剣を持つ腕の肘を直角に曲げた状態で、相手選手の剣がちょうど肘に届く距離を計測します。同様に両選手の距離を計測し、車いす間の距離は腕の短い選手の計測した距離に合わせます。



電気審判器の設定

得点の判定は電気審判器で行われます。使用する剣やユニフォームにケーブルを取り付け、審判が正常に作動するかを確認します。



剣にケーブルを取り付けます



剣で突いたときに審判器が反応するか、剣先に重りをつけて確認します

準備が整ったら審判の合図で試合を開始!

競技の様子

試合は数々の準備を経て、審判の合図で始まります。得点判定については電気審判器を使用し、判定は審判が行います。

車いす

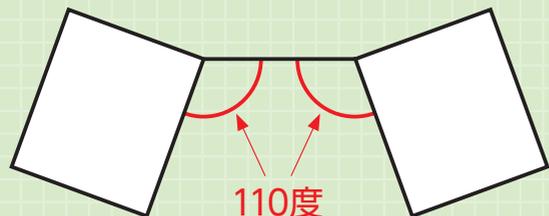
競技専用の車いすで、身体を乗り出せるように、片方だけ持ち手を装着してあります。クッションは高さは10cm以下と決められていて、競技中はでん部が車いすから離れると反則になります。



ピスト

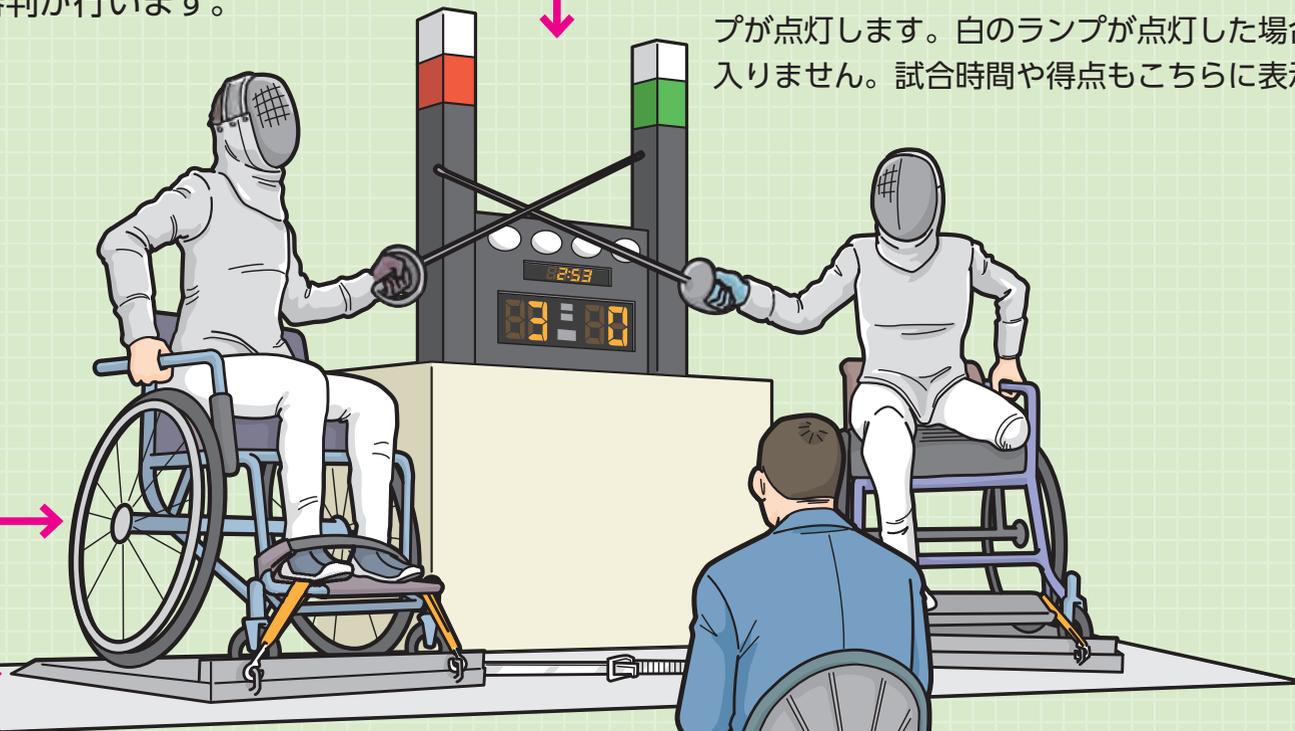
車いすを固定する器具をピストといいます。剣を持つ腕の方向に正対して、110度の角度に固定された金属板の上に車いすの両タイヤを留め金で固定した上で、前輪キャスターをベルトで更に補強固定します。ピストに車いすを固定する作業は、専用のスタッフが必要になります。

◎左利き選手と右利き選手の試合の場合



電気審判器

得点が決まったかどうかの判定は、電気審判器を使用して審判が判定します。選手の持つ剣や有効面に着用しているウェアには電気コードが付けられていて、ポイントが決まると通電して審判器の赤または緑のランプが点灯します。白のランプが点灯した場合は得点は入りません。試合時間や得点もこちらに表示されます

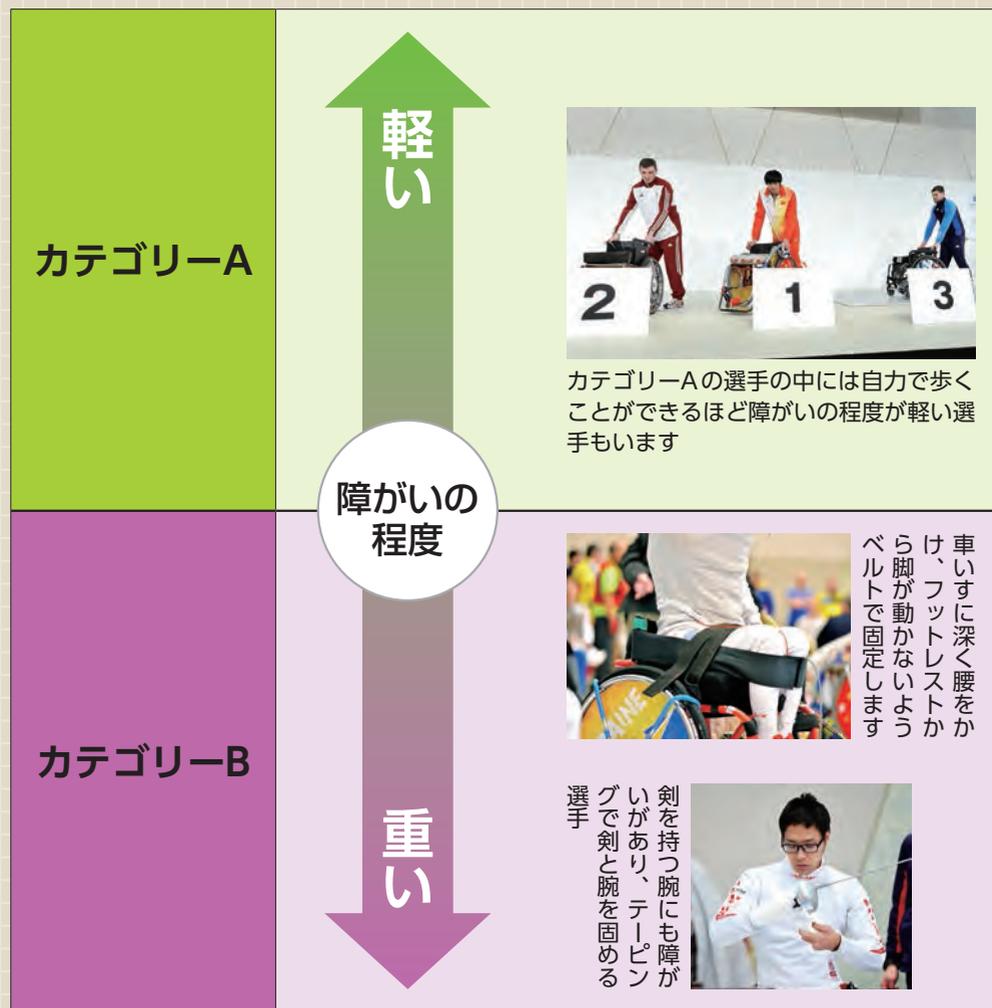


審判

車いす間の距離の調整や、電気審判器の作動を確認するなど試合前の準備は審判が行います。合図などの言葉はフランス語が使用されます。

クラス分け

車いすフェンシングには下肢に障がいのある選手が出場しますが、障がいの軽い選手と重い選手が戦っても、障がいによって有利不利が出てしまい、公平な勝負にはなりません。そこで障がいの種類や程度によって分けられた2つのクラスごとに試合をして順位を決めています。



カテゴリーA

軽度な障がいのカテゴリーAの選手たちは、下肢の切断やまひなどの障がいで、体幹バランスが良好です。選手によっては、身体を伸ばして攻撃したり、後ろに倒して攻撃をかわすことができます。



体幹が効き、上半身を前後に倒したり自由にコントロールすることができます！

カテゴリーB

障がいの程度が重いカテゴリーBですが、大きな違いは体幹バランスが悪いことです。そのため車いすに深く腰を掛け、前後に深く身体を倒すことは困難です。下肢だけでなく剣を保持する腕や上半身など、四肢に障がいのある選手もカテゴリーBに含まれることがあります。



バランスが悪く、上半身を激しく動かすことが難しい選手もいます！

各種目の特徴・見どころ

攻撃方法やその有効範囲などが異なるフルーレ、エペ、サーブルの3種目を細かく解説していきます。

フルーレ

フルーレの特徴は攻撃権があること。攻撃権を奪い合いポイント獲得を狙う攻防が繰り広げられ、瞬間的な技の応酬が見られる種目です。有効面も胴体のみと3種目の中で一番狭いのも特徴です。

攻撃方法	突き
有効面	<p>胴体のみ</p> <p>選手たちは有効面となる胴体に専用のメタルジャケットを着用します。剣先で500g以上の力で突いた場合に審判器のランプが点灯し、得点が認められます。</p> 
攻撃権	あり
パラリンピックでの実施	男女の個人戦、団体戦
使用する剣の規定	<p>剣の長さ：110cm以下</p> <p>剣身：90cm以下</p> <p>重さ：500g以下</p>



攻撃権とは？

フルーレとサーブルの2種目においては、「攻撃権」の有無が重要です。「攻撃権」とは、先に腕を伸ばして攻撃を仕掛けた方に与えられる優先権のことで、攻撃権がある状態で突きや斬りを決めたときに、初めてポイントになります。同時にポイントのランプが点いたとしても、攻撃権がある選手のポイントとなり、攻撃権のない選手にはポイントが入りません。しかし、攻撃権のない選手が攻撃権のある選手の剣を払って剣先を逸らしたり、間合いを切って逃げ切ると、攻撃権は相手へ移ります。攻撃権を失った選手がまた相手の剣を払うと、攻撃権は戻ってきます。つまり、攻撃権は試合中に激しく移り変わります。ポイントを得るための攻撃権を求めて、剣の応酬が繰り広げられるのです。選手たちが何気なく剣を払いながらけん制している場面でも、実はその裏では「攻撃権を奪い合い、駆け引きしている」ことを意識して試合を観戦してみてください。

★右の選手が先に攻撃を仕掛けたので、攻撃権を得ました



★しかし、左の選手が相手の剣先を払ったため、攻撃権は左の選手に移りました



エペ

特徴は上半身すべてが有効面と攻撃範囲が広く、一方で攻撃権がないため、うかつに手を出すとポイントを取られる危険性が高くなります。攻撃権はなく、同時にランプが点いて両選手にポイントが入ることもあります。



下半身に剣が当たってもセンサーが反応しないよう、スカートを装着します

攻撃方法	突き
有効面	<p>上半身</p> <p>下半身を突いても反応しないように、絶縁のためスカートを着用します。剣先で750g以上の力で突いた場合に審判器のランプが点灯し、得点が認められます。</p> 
攻撃権	なし
パラリンピックでの実施	男女の個人戦、団体戦
使用する剣の規定	<p>剣の長さ：110cm以下</p> <p>剣身：90cm以下</p> <p>重さ：770g以下</p>

サーブル

特徴は突きだけでなく斬りがあること。有効面も広いいため、攻撃権を得てポイントを獲得しようとダイナミックでスピーディーな戦いが繰り広げられます。3種目の中で最も試合の決着が早い種目とされています。



斬り攻撃があるため、勢よく剣を振り下ろして攻めるシーンも見られます

攻撃方法	突き、斬り
有効面	<p>上半身</p> <p>突きだけでなく斬りがあることから、剣に付いた小さなセンサーが振動をとらえて、相手を斬ったかどうかを感知し、審判器が判定します。</p> 
攻撃権	あり
パラリンピックでの実施	男女の個人戦
使用する剣の規定	<p>剣の長さ：105cm以下</p> <p>剣身：88cm以下</p> <p>重さ：500g以下</p>

まばたき厳禁! 射程距離ゼロの攻防

前後に動いて相手との間合いを駆け引きできるフェンシングに対して、車いすフェンシングはピストに固定された車いすに乗っているため相手との距離が固定、しかも手を伸ばせば剣が届く「射程距離ゼロ」の状態です。そのため、常に相手の剣先が飛んできて点を奪われる緊迫感を感じながら戦うこととなります。

また間合いをつめる駆け引きがない分、車いすフェンシングではスピーディーな試合が展開されます。試合展開が早くなると、必然的に素早い判断力も必要で、相手が先に攻めてきたら身体を逸らしてよけるべきか、剣で防御するか、もしくはカウンターで攻撃を狙うべきか、状況を的確に素早く判断して戦う必要があります。

審判の合図で試合が始まった瞬間から繰り広げられる攻防は、フェンシング本来の魅力に加えて、車いすならではのテクニックも兼ね備えて観客に息をつかせないほどの戦いを見せてくれます。



ピストごと
浮きあがるほど
力強い突き!

瞬間的に攻撃を
かわす!



正面だけでなく
背中も狙う!



もっと車いすフェンシングを知りたい!

国内での競技大会

国内で行われている車いすフェンシングの大会として、まずは日本車いすフェンシング選手権大会があげられます。加えて、近年では多くの海外選手が参戦して世界レベルの大会が実施されています。2018年にはワールドカップ京都大会が、2017年はIWAS サテライト大会 (日本選手権大会と併催) が同じく京都で行われ、多くの観客が詰めかけました。大会の情報は日本車いすフェンシング協会のホームページでご確認ください。



2018年ワールドカップ京都大会



2017年IWASサテライト大会

体験会やボランティア講習会など

車いすフェンシングの体験会やデモンストレーションは各所で行われていますので、お近くの方はぜひ参加してみてください。

また車いすフェンシングで欠かせないのが選手の車いすをピストに固定するボランティアです。素早くきっちりとピストに車いすを固定する作業は、選手にとって重要なだけでなく、円滑な大会運営を行う上でも必要不可欠です。ボランティアとして車いすフェンシングを支えてくれる方も広く募集していますので、もしご興味ある方は日本車いすフェンシング協会までご連絡をお願いします。



選手発掘で競技を体験の様子



競技に欠かせないボランティア